

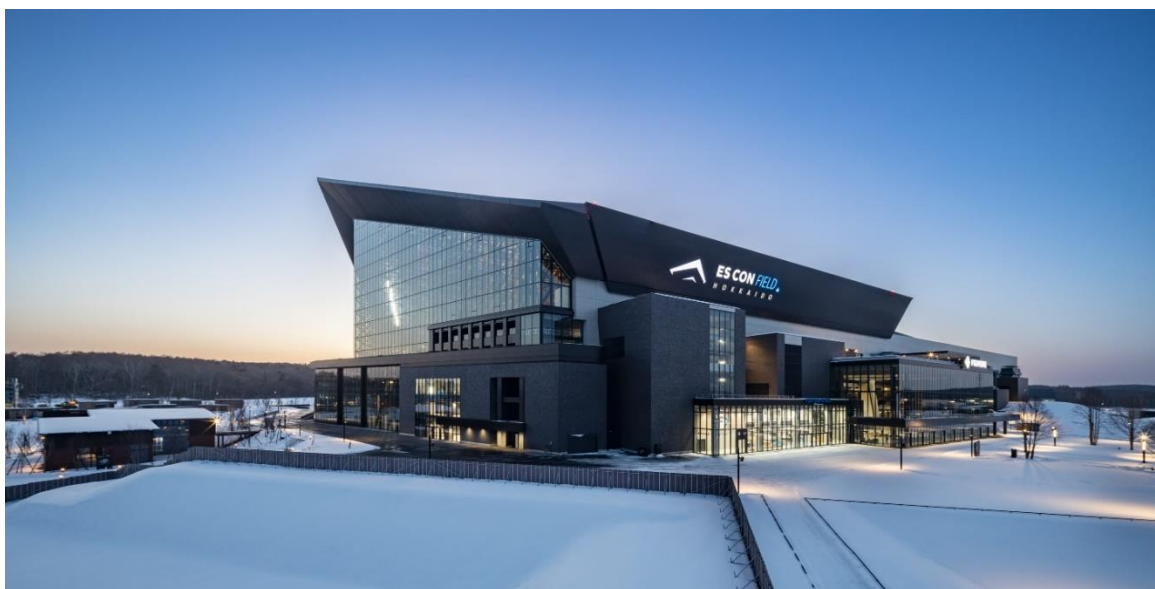
HOKKAIDO BALLPARK **F VILLAGE**

2025 年 1 月 29 日

株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント

HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE ANNUAL REPORT 2024

株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメントは、2023 年 3 月 30 日に開業した ES CON FIELD HOKKAIDO（以下、エスコンフィールド）および、エスコンフィールドを核としたエリア HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE（以下、F ビレッジ）が、2 年目を終えたことを受け、「ANNUAL REPORT2024」をご報告いたします。



1. 2024 年の振り返り

F ビレッジ 2 年目となる 2024 年の年間来場者数は 418 万 7,046 人（前年比 + 21%）となりました。内訳は以下のとおりです。

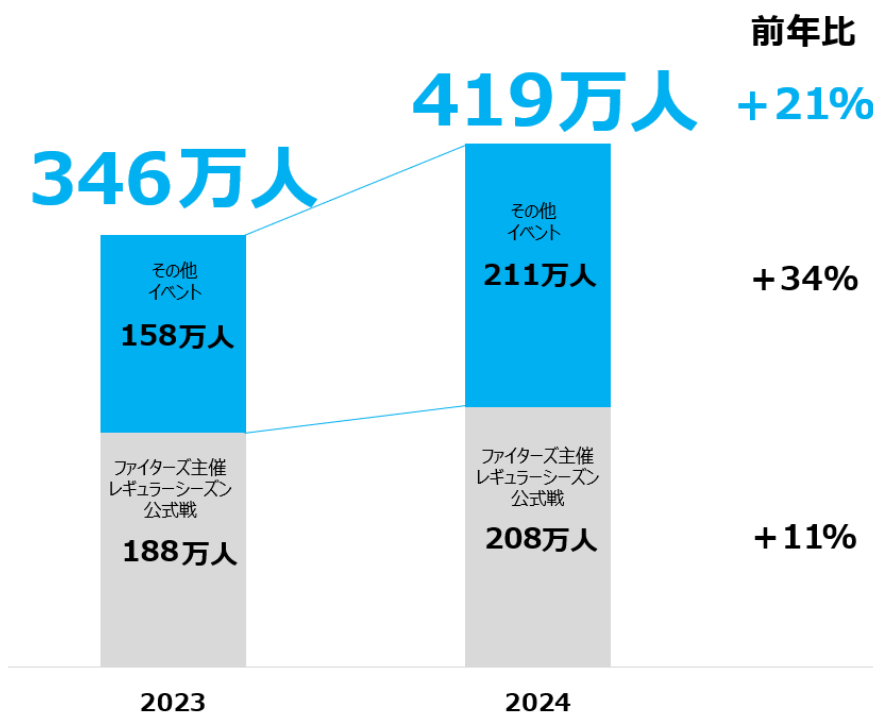
- ・ファイターズ主催レギュラーシーズン公式戦： 207 万 5,734 人
- ・その他イベント(上記主催試合以外)： 211 万 1,312 人

年間を通じて、国内外から多くのお客様にご来場いただき、大小合わせて 400 以上のイベントを開催しました。試合がある日もない日も楽しめる場所として、多くの皆様にご利用いただきました。

HOKKAIDO BALLPARK **F★VILLAGE**

- ・1月1日～12月31日の期間で、400万人を突破し、**約 419 万人(平均 11,794 人/日)** が来場
- ・ファイターズ主催レギュラーシーズン公式戦では、最終戦の9月29日（日）に **37,527 人** となり、**過去最高動員記録**を達成
- ・開業から468日目の6月21日（金）には、Fビレッジ累計来場数が **500 万人** を突破
- ・ファイターズ主催公式戦以外には、「マイナビオールスターゲーム」、「日韓ドリームプレーヤーズゲーム」、「2024 パーソル クライマックスシリーズ パ（3 試合）」、そして「Bリーグ公式戦 レバンガ北海道 Winter Classic@エスコンフィールド（2 試合）」等、いずれも初開催し、多くのご来場をいただいた

<Fビレッジ年間来場者数>

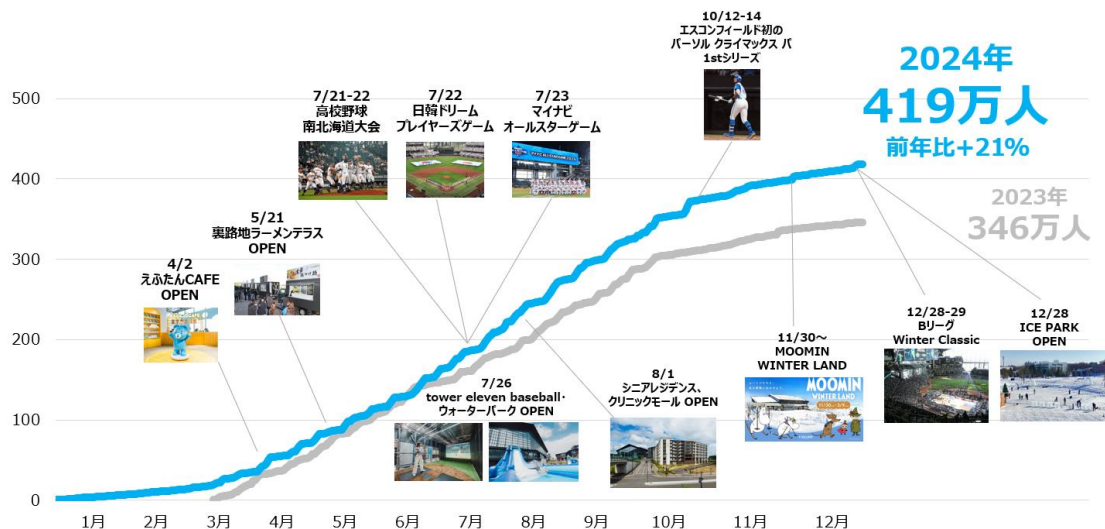


出典：LINE ヤフー／ヤフー・データソリューション

※参照：東京都 東京スカイツリー来場者数 447 万人、沖縄県 美ら海水族館来場者数 296 万人（2023 年）

HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE

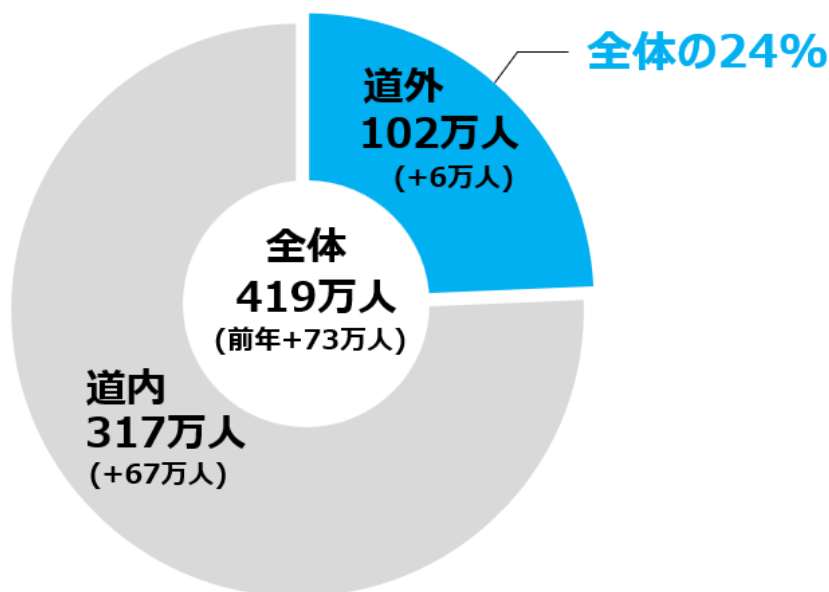
<来場者数推移と主なイベント>



出典：LINE ヤフー／ヤフー・データソリューション

- ・ 道外からの来場者は **102 万人（全体の 24%）** となり、2023 年同様高い水準
- ・ 道外来場者の居住エリアは、東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪の順。海外からの来場者も前年の約 2 倍に

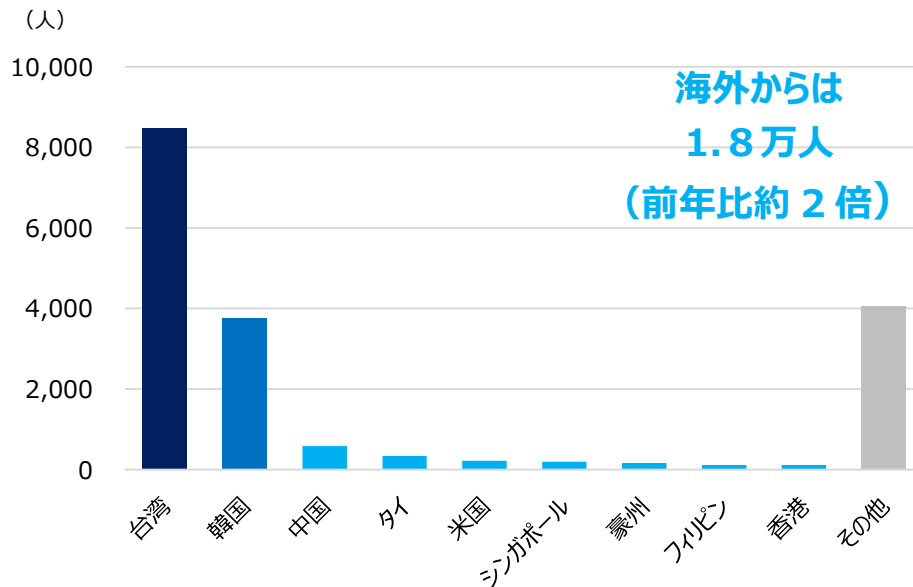
<来場者数：地域別>



出典：LINE ヤフー／ヤフー・データソリューション

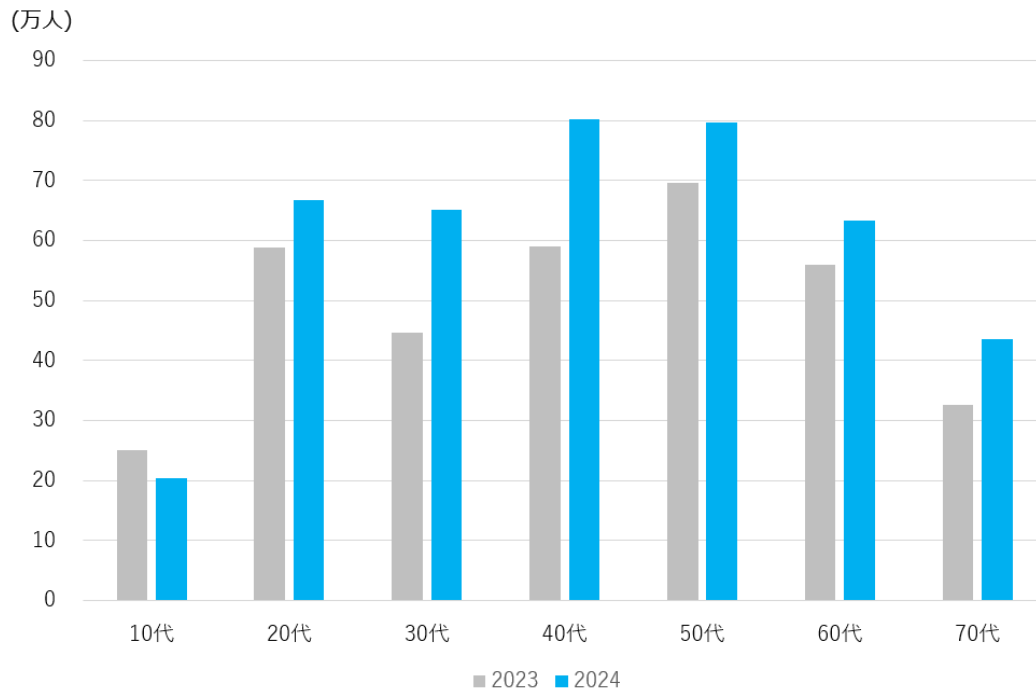
HOKKAIDO BALLPARK **F★VILLAGE**

<来場者数：海外からの主な国籍別>



- ・世代別にみると、20 代の来場者数は昨年に続き、高い水準
- ・30 代・40 代の来場者の伸び率も高く、ファミリー層の来場が顕著なことがうかがえる

<来場者数：世代別>

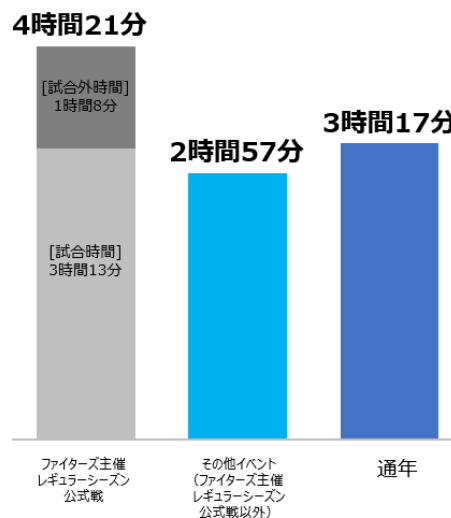


出典：LINE ヤフー／ヤフー・データソリューション

HOKKAIDO BALLPARK **F VILLAGE**

- ・平均滞在時間は、3 時間以上。試合日でも、ファイターズ主催レギュラーシーズン公式戦の試合日でも、試合外時間で 1 時間以上、F ビレッジに滞在しており、試合前後にも飲食やアクティビティを満喫いただいている
- ・来場者アンケートによると、再来場意向が 5 点満点中 **4.60** 点となり、2023 年より **6 %** アップ
- ・再来場意向が上がった理由としては、オペレーションの改善（待機時間の減少等）や長時間楽しめるコンテンツ提供（試合前後のイベント開催等）などが挙げられる

<平均滞在時間>



出典：LINE ヤフー／ヤフー・データソリューション

2.今後の展望

F ビレッジ、エスコンフィールドの進化は続きます。エスコンフィールドの内野が天然芝から人工芝へと変更となり、選手の練習の負担軽減や野球のない日は様々なイベントの開催が可能となる予定です。ご来場いただいたファンの皆様によりよい環境で楽しんでいただけるよう、バス停の屋根の設置やエスカレーターの増設など、ハード面でも進化し続けてまいります。そして、世界一の球場飲食を目指して、新たな飲食にもチャレンジしていきます。

また、F ビレッジだけでなく、北広島駅には、駅直結の商業施設の「トナリエ北広島」が 3 月オープン予定となり、飲食店舗やホテルなど、北広島市全体でより街化が進むことも注目されております。

2028 年には新駅開業や北海道医療大学移転が予定されております。2028 年が飛躍の年になるよう、向こう 3 年間は、地に足をつけ、一つ一つの事柄に対して、よりよい質を求めています。

2025 年もファンの皆様のご支援、ご声援をいただきながら、「観光地化」から「街化」への歩みを止めることなく、挑戦しつづけながら、前進してまいります。

※画像データの無断転用はご遠慮ください